

島根県土木部砂防課 再評価対象事業

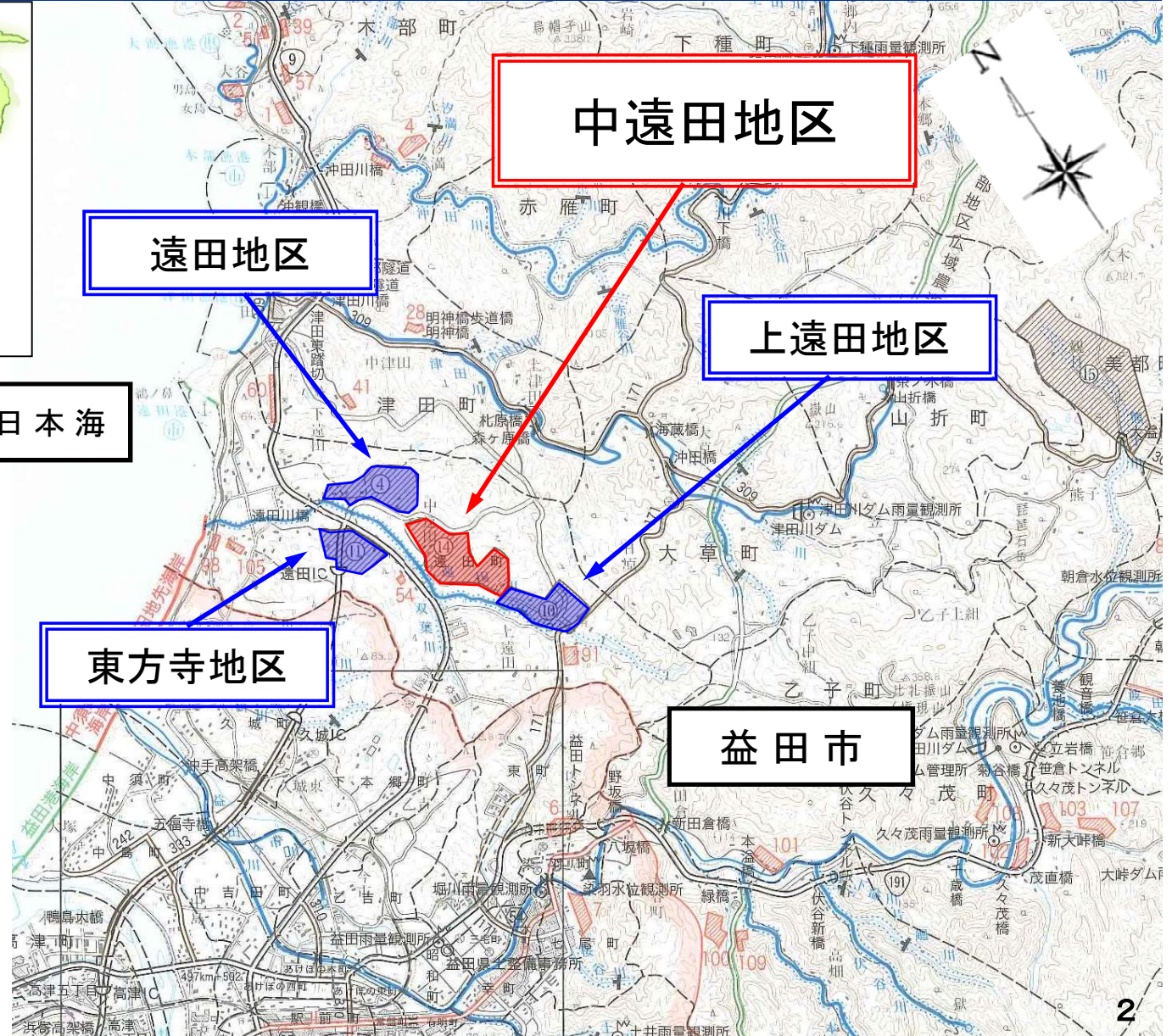
⑧ 地すべり対策事業

な か と お だ

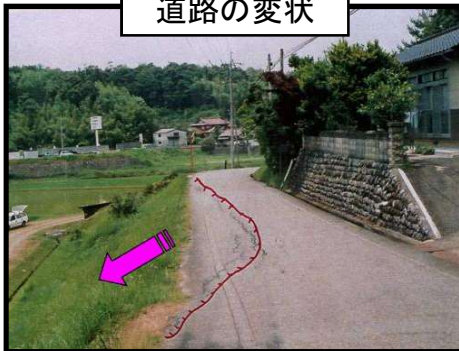
中遠田地区

(再評価実施後5年を経過している継続中の事業)

⑧ 地すべり対策事業 中遠田地区 ～位置～



道路の変状



人家の変状



⑧ 地すべり対策事業 中遠田地区 ～保全対象・進捗状況～

再評価実施後5年を経過している継続中の事業

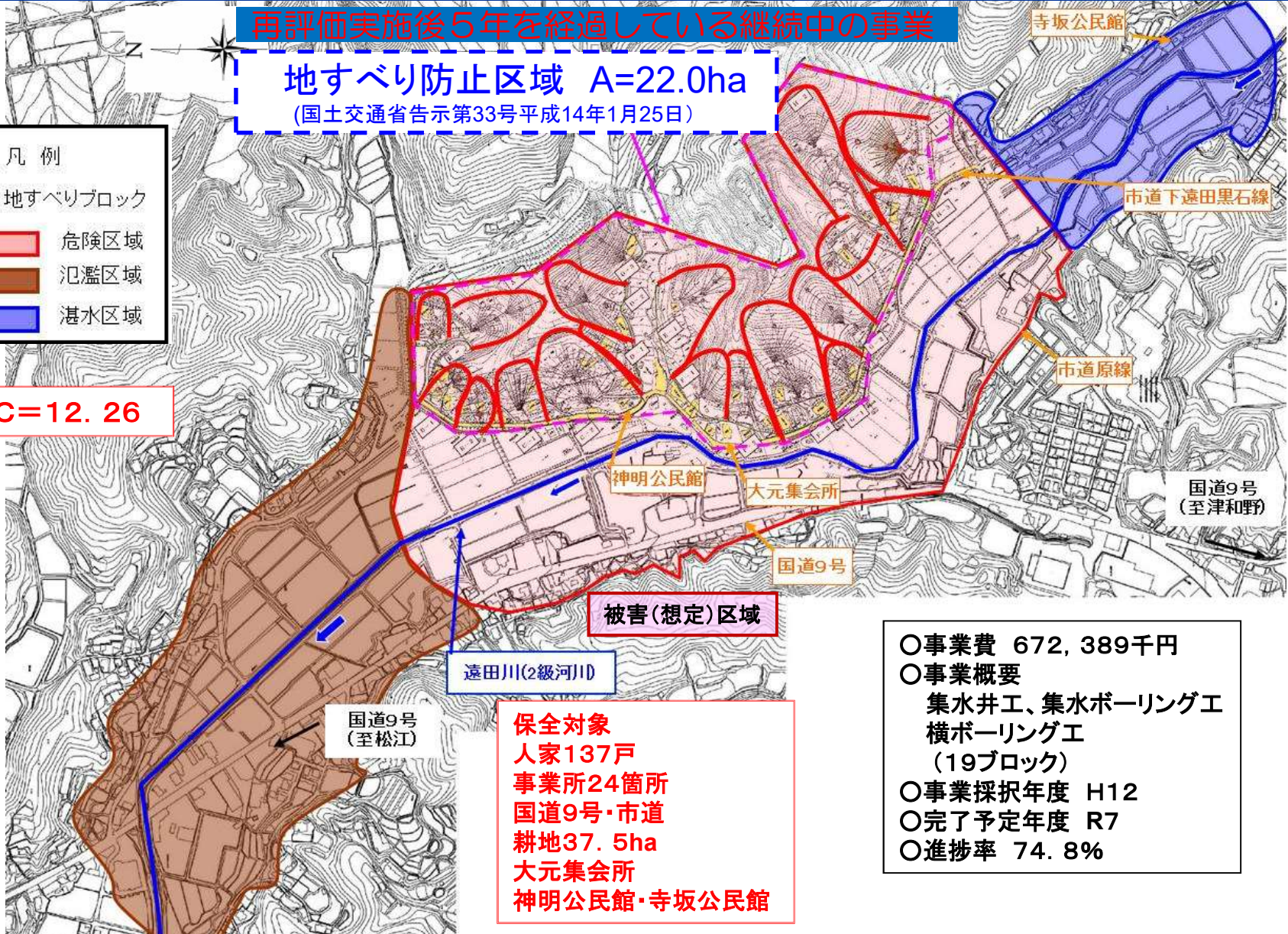
地すべり防止区域 A=22.0ha

(国土交通省告示第33号平成14年1月25日)

凡例

- 地すべりブロック
- 危険区域
- 氾濫区域
- 湛水区域

B/C=12.26



保全対象
人家137戸
事業所24箇所
国道9号・市道
耕地37.5ha
大元集会所
神明公民館・寺坂公民館

- 事業費 672,389千円
- 事業概要
集水井工、集水ボーリング工
横ボーリング工
(19ブロック)
- 事業採択年度 H12
- 完了予定年度 R7
- 進捗率 74.8%

⑧ 地すべり対策事業 中遠田地区 ～現在の状況～

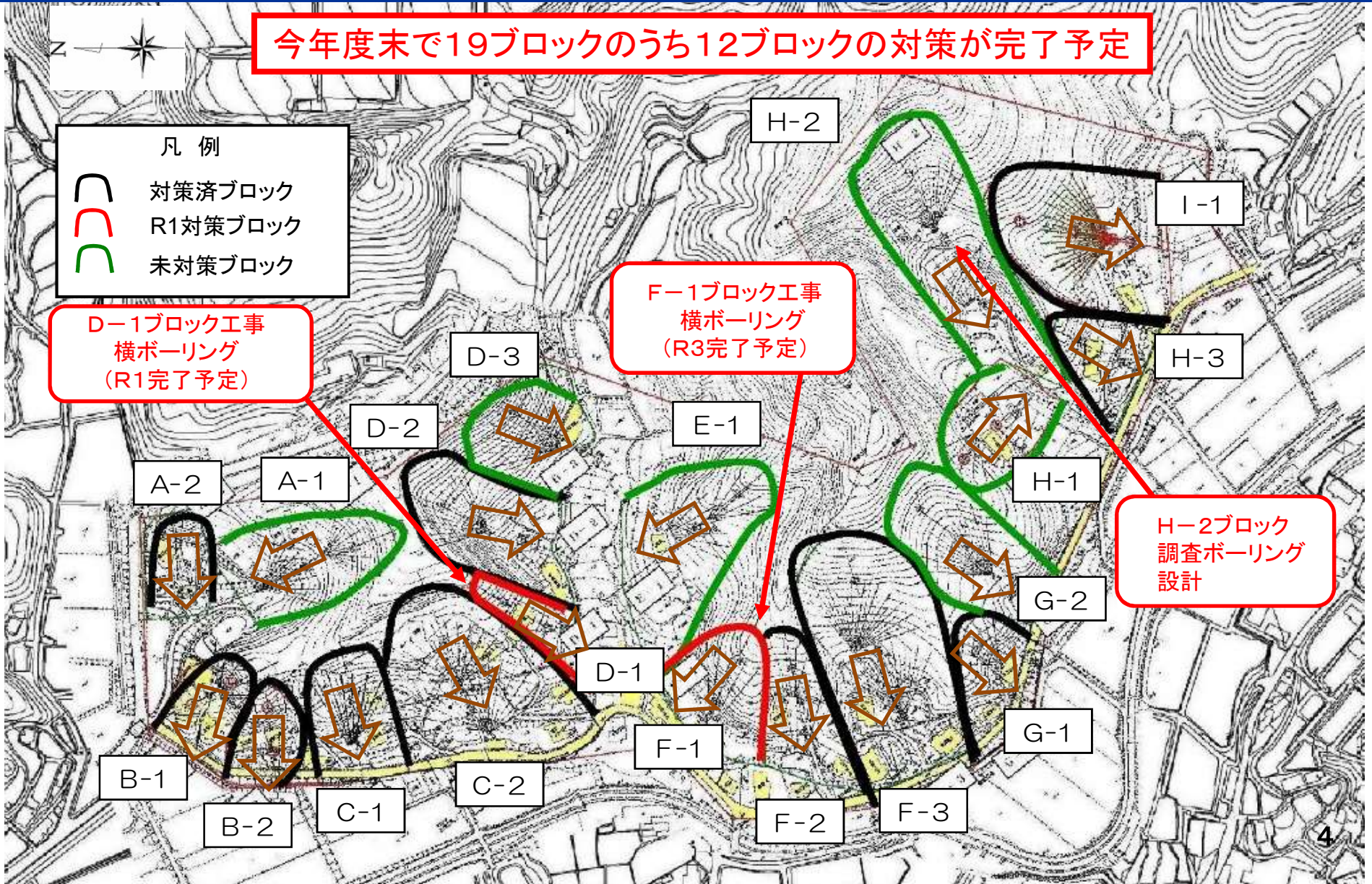
今年度末で19ブロックのうち12ブロックの対策が完了予定

- 凡例
- 対策済ブロック
 - R1対策ブロック
 - 未対策ブロック

D-1ブロック工事
横ボーリング
(R1完了予定)

F-1ブロック工事
横ボーリング
(R3完了予定)

H-2ブロック
調査ボーリング
設計



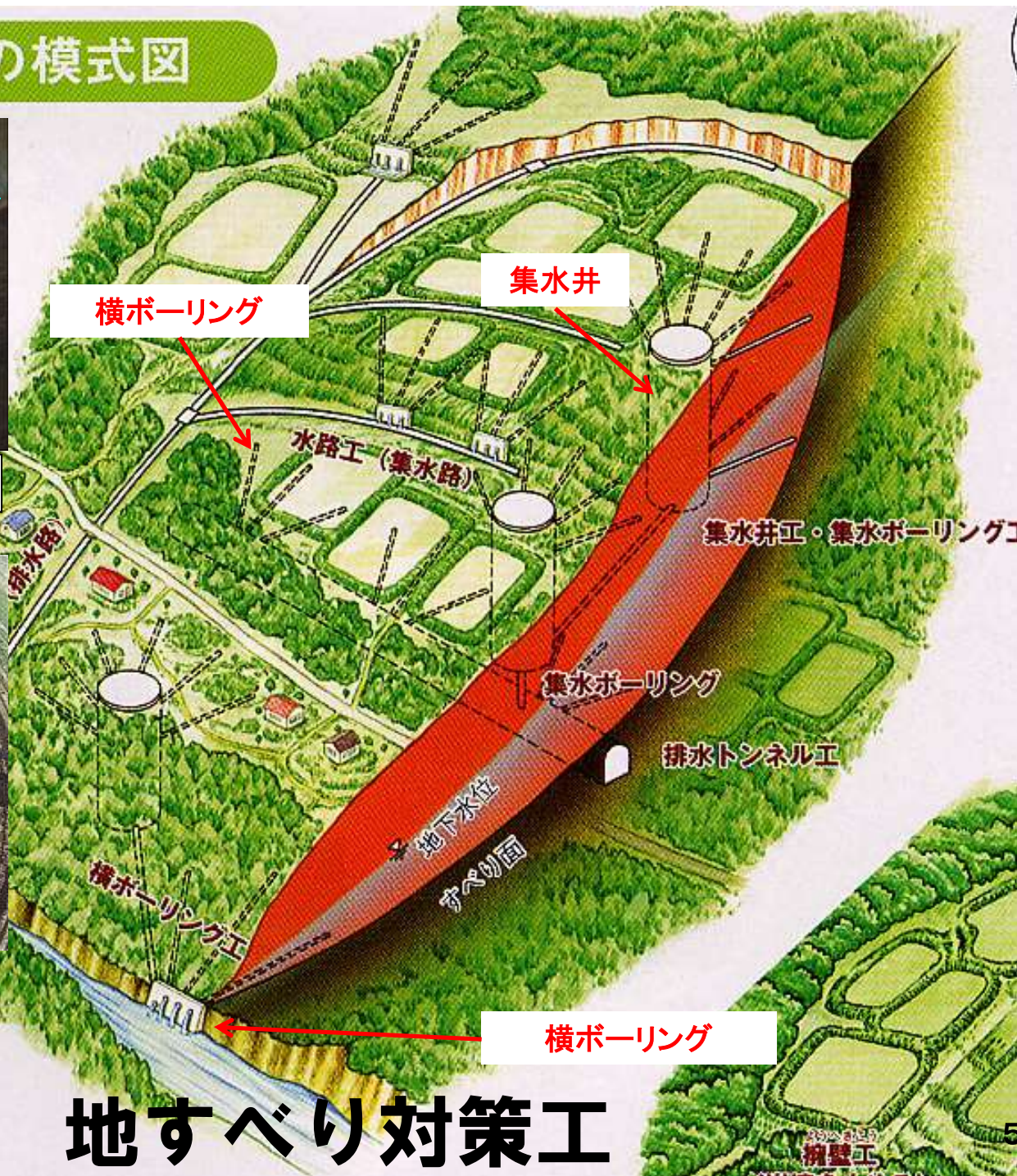
抑制工の模式図



集水井工による排水のイメージ



集水井内の様子



地すべり対策工

⑧ 地すべり対策事業 中遠田地区 ～対策の概要～

工事が長期間となる理由

- ・対策は「観測・解析→用地買収→対策工事⇔効果確認」という流れで実施するが、観測や効果確認をする地下水位はまとまった降雨時に観測する必要がある。
→ 一つのブロックに対して対策に3～5年の期間を要する。
- ・近接ブロックや同じブロックでもすべり面が上下に想定される箇所において、対策効果が連動する可能性が高く、より経済的・効果的な対策工とするため、地下水位の降下状況を段階的に確認しながらの作業となる
→ 一度に多くのブロックの対策をしない。
1つのブロックにおけるすべてのすべり面の対策を一度にしないことが多い。
- ・ブロックが19箇所と非常に多い

